



# 神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8816

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

## ◆小学生から助けを求められ…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、先日、突然助けを求められました。その日は、土曜日だったので、会社に用事があり、昼過ぎに車で向かいました。そして、会社近くのコインパーキングに車を止め、そこから会社に歩いて向かいました。

私は、道路の右側を歩いていたのですが、反対側の前方から歩いてきた(ランドセルを背負った)小学1年生くらいの男の子が、突然、道を横切って私に近寄ってきて「ちょっとお願いがあります！」と、言ってきました。

見ず知らずのおじさんをお願いってなんだろうなあと思い「なあに？」と聞くと、その男の子が「私を手伝ってください」と言ってきました。私が「何を手伝えればいいの？」と聞くと、私が歩いてきた後方にスタンド型の“公衆電話”があり、電話をかけるのを手伝ってほしいということでした。そうです。その男の子の背丈では、公衆電話の受話器に手も届かなければ、番号を押すこともできなかったのです。

私は、携帯を持っていましたので、私の携帯で電話を手伝ってしまってもよかったのですが、本人の意思を尊重して、公衆電話のところまで戻りました。

そして、私が「どこにかければいいのか？」と聞くと、その男の子が通学で使っているとされる定期券のスイカが入ったパスケースからテレホンカードを取り出して、私に渡しました。ちなみに、パスケースの反対側にお父さん、お母さんの携帯番号と、家の固定電話の番号らしきものが書いてあったのですが、その男の子もバカで



はありませんので、見ず知らずの大人にその番号を渡すことなく「かけたい番号があるので、番号を言うのでかけてください」と言ってきました。ああ賢い子だなあと思いながら、受話器を取って、テレホンカードを入れて、男の子に言われた番号を (2枚目へ→)

(続き→) 押し、呼び鈴が受話器から聞こえたので、「これでつながると思うよ」と言って、本人に受話器を渡しました。

男の子は相手が出るのをじっと待っていたのですが、「留守電になっちゃった！」と言って、一回受話器を置くことになり、私が「じゃあもうひとつの番号にかけてみる？」と聞くと、男の子は「たぶんもう1回かければ、気づいて出るんじゃないかと思う」と言い、また同じ番号にかけてみました。

すると、今度はお母さんが出たようで、男の子は第一声「お母さん迎えに来て！」と言いました。どうやら、本人が思った待ち合わせの時間に親御さんが来ておらず、公衆電話を探し、私に声をかけ・・・ということでした。

そして、お母さんが「あなた、いまどこにいるの??」と聞き、男の子が私に「ここはどこですか?」と聞いてきました。私が「ここは平塚駅西口駅前のセブンイレブンの南側の公衆電話だよ」と言うと、彼はそのままお母さんに伝え、じゃあそこで待つてなさいとなり、電話を切りました。私は「じゃあもうだいじょうぶだね? 車通るから気をつけてね、さようなら」と言って、お互い手を振って別れました。

以来、私は公衆電話の高さが妙に気になるようになりました。この公衆電話はどれくらいの背丈の人を、どれくらいの年齢の人を対象としているのか。調べると子供用もあるのですが、ほとんど見かけません。私たち大人の大半は携帯電話を持っています。“お客様目線”について、いろいろ考えさせられた出来事でした。

## ◆発行者コラム◆

健康診断で“やせ型”と書かれるのが自慢だったのは、いつの頃でしょうか……。 “やせ型”が“普通”になり、今では“肥満”と書かれるようになりました。ここ12年で15キロ増・・・(汗)。まずは“普通”に戻れるように、今年は頑張ります！ 米山

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

### 【発行元】

 株式会社  
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町7番35号

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8816

発行責任者: 神奈中情報システム

